

調布市民プールのあり方に関する基本的な考え方（素案）に対するパブリック・コメント手続の実施結果

【パブリック・コメント手続の実施概要】

1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和7年10月31日（金）から令和7年11月30日（日）まで
- (2) 周知方法 市報（令和7年11月5日号、11月20日号）、市公式X（旧Twitter）および市ホームページ
- (3) 資料の閲覧場所 市役所8階スポーツ振興課、公文書資料室、神代出張所、みんなの広場（たづくり11階）、市民活動支援センター（市民プラザあくろす2階）、各図書館・各公民館・各地域福祉センター（染地を除く）、教育会館（1階）、総合体育館、市民プール管理棟
- (4) 意見の提出方法 氏名、住所、御意見を記入し、直接又は郵送、FAX、Eメール、インターネット専用フォームで市役所スポーツ振興課まで提出
※資料の閲覧場所に設置する意見提出箱への提出も可

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数：26件（20人）

＜提出意見の内訳＞

全般に対する意見	0件
1 策定の背景と目的	1件
2 調布市民プール及び公営プールを取り巻く現状と課題	3件
3 調布市民プールのあり方について	20件
4 その他	2件

- (2) 意見の概要と意見に対する市の考え方 別紙のとおり

【意見の概要と意見に対する市の考え方】□

※いただいた御意見等の内容は、原則として、原文を基に掲載しております。□

No	項目	御意見等の内容	市の考え方
1	1 目的と背景	家族で使用出来る施設として改築等し、残して欲しい。また、水泳は生涯スポーツとして長く浸透してきたのでその機会を継続すべき。	公営プールの意義を踏まえ、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。
2	2 調布市民プール及び公営プールを取り巻く現状と課題	民間のプールに置き換えるとなると税金も下げるべきだと思う 公共のプールとして民間プールより安い環境を提供する事が公共の利益としてあるべき事であり民間に依存するのは本末転倒で市民に対して不誠実だと思う	公営プールの意義を踏まえ、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。
3	3 調布市民プール及び公営プールを取り巻く現状と課題	多摩川沿いの市民プールも、体育館の市民プールも両方とも使えないのには、子育て世代としては大変残念に思っている。 市民プールが使えないのなら、調布駅周りや市役所前たづくり前で水遊びができるような仮設遊具を作ったりして、市民プールの職員もそちらへ派遣するなどすればよかったですのではなかろうか。 ホースを穴が空いていて水が小さい噴水のように出たりする道具はたくさんあるので、道具は世の中にたくさんある。 今年はとくに猛暑日が多いなか、わざわざ自分の住んでいる調布から出ざるを得なかつた… 大変残念です。	調布市民プールは、多くの市民や子どもたちに利用され、夏季のレジャー・や水遊び、健康づくりの場として一定の役割を果たしてきたものと認識しています。 今後は、子どもの水遊び環境の確保についても留意しながら、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。
4	4 調布市民プール及び公営プールを取り巻く現状と課題	社会情勢の変化などによって、ニーズは常に変わりうるものである。入場者数の長期的な下落に関しては、そうしたトレンドに沿った、やむを得ない面が大きい。当初の造設の目的からすれば、調布市民プールを始めとする公営プールは、50年余りのニーズとに応え、市民の健康増進に寄与し、十分意義のあるものだったのではないか。	一般に、公営プールは、水泳や水遊びを通じた幅広い年代の市民の健康増進や子どもが水に親しむ機会の提供、多世代交流の場など、多面的な意義を有しており、なかでも、調布市民プールは、多くの市民や子どもたちに利用され、夏季のレジャー・や水遊び、健康づくりの場として一定の役割を果たしてきたものと認識しています。 今後は、こうした多面的な意義を踏まえ、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。
5	5 調布市民プールのあり方について	子供も大人も楽しめる、清潔なプールができて欲しいです。府中市にはいくつもの楽しいプールがあります。流れるプールや滑り台付きプールなどです。世田谷区はスライダーがあるプールもあります。どちらも安価で大人気施設です。調布市は子育て世代が多いのに水遊びできる場所がほとんどありません。もう少し子育て世帯に寄り添う、楽しいプールができて欲しいです。	調布市民プールは、多くの市民や子どもたちに利用され、夏季のレジャー・や水遊び、健康づくりの場として一定の役割を果たしてきたものと認識しています。今後は、子どもの水遊び環境の確保についても留意しながら、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。
6	6 調布市民プールのあり方について	取りまとめられた方針に賛成します。市民プールの利用者は減少の一途であり、安全確保・維持管理のコストという二面において、存続は難しいと判断せざるを得ない状況であると理解します。また、代わりとなる選択肢として総合体育館のプールがありますので、手頃な価格で・単発利用でプールに触れる機会は維持されると考えます。	市内の公営プールの配置などを踏まえた地域バランスへの配慮や、費用対効果の視点を踏まえながら、検討を進めて参ります。
7	7 調布市民プールのあり方について	昨年、調査して利用できないとしたのにも関わらず、冬には何も進めず、夏に利用できるかと思ったら、また新たな欠陥が見つかったというのは、とても悲しかった…… ただせっかく調布に住んでいるのだから、利用したいと切望している(子供が小さい方に) ただ猛暑日が多くなってきているので、屋外ではいいか布を張って日除けにするなどの工夫は欲しいと思っています。	令和5年度に調布市民プールを開設した後、同年度10月に施設点検を実施した際、50メートルプールの水位が低下する事象を確認したことから、令和6年度については劣化度調査実施のため市民プールを休止いたしました。 劣化度調査結果に加え、近年の気候変動による猛暑日の増加など屋外プールをめぐる環境の変化に伴う様々な課題を総合的に勘案し、令和7年度以降当面の間調布市民プールを休止することといたしました。 今後は、子どもの水遊び環境の確保についても留意しながら、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。

8 3 調布市民プールのあり方について	<p>廃止には反対です。議事録にもあるように、現在プールがある地域には他に利用できる公営プールがなく、廃止されると困ります。経費が問題ということであれば、屋内プールで通年利用とし、多少なら利用料が高くなってしまっても利用者はいるのではないかと思います。また、児童用プールへの賛同意見が多くみられましたが、もちろんその良さも残しつつ、利用者が少ない時間帯などは、お年寄りのリハビリ(健康づくり)に役立つようなプログラムを作つてアピールしていったり、デイケアなどと提携するなどすることなどでカバーしていくてもよいのかと思います。また、簡単なカフェスペース(人件費がかからないような自販機スペースでもいいかと思います)などを併設して、地域のちょっとした健康作りをテーマとしてコミュニティースペースも併設してもよいのかもしれません。多摩川が近くにあり、ジョギングをしている人たちも多いことから、シャワースペースと更衣室(有料で)使えるようにしてもらいたいかもしれません。もっと予算があるのであれば、立地を生かして、いっそのこと、プール+スポーツジム+ドッグラン+飲食orカフェスペースも併設して、二子玉川のように、駅からは遠いですが、川沿いということを活かしたちょっとおしゃれなスポーツ関連のスペースに作りかえれば、調布の新しい集客(?)場所になるかもしれません。</p>	<p>屋外プールである調布市民プールは、開設から50年以上が経過する中、老朽化や維持管理コストの増大、利用者数の減少に加え、近年の異常な猛暑や熱中症リスク、天候急変や自然災害などの気候変動リスクに伴う利用環境の変化などの課題に直面しています。こうした課題を踏まえ、多角的な観点から検討を行った結果、調布市民プールは、民間の屋外レジャープールによる代替性や費用対効果といった点を総合的に勘案し、現状の屋外プールとしては改修・更新はしないこといたします。今後は、公営プールの多面的な意義を踏まえ、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。頂戴したご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
9 3 調布市民プールのあり方について	<p>一般的に、公営のプールは、建設から長い年月が経過した場合の老朽化や維持費の財政負担等の問題がある。しかしながら、近年の「学校における水難事故による水泳授業停止」の傾向に歯止めをかける為にも、また、水泳授業の重要性や地域住民の健康増進、ファミリーの肌のふれあいや娯楽の場として安価で利用できる公共施設として、そして毎年行われる調布市民水泳大会の場として、調布市民プールは重要な役割を果たす筈だ。コロナ蔓延前後から、屋外プールでの熱中症の危険性も唱えられてきたが、監視員も含め、市民プールへの訪問客の「熱中症予防は自己責任」の限度もある為、今後、調布市民プール立て直しが施行されるのであれば、一部に屋根付きプールを設けるなど、費用を抑えた工夫は可能である。屋外の、競泳の練習も可能な長水路、小さな子供でも水に慣れ親しめる水深70cmや90cmの瓢箪プールは非常に価値の高いものであった。また、伸び伸びと親子でビーチボール等を楽しめるプールは、希少且つ貴重であった。温暖化を逆手に取り、かつての「7月10日から9月10日まで営業」を1~2か月、前倒しと後ろ倒しすることで営業期間を長くし、人件費を上回る利益を生み出せば、採算もとれるであろう。府中の市民プールの様な、大きなスライダーや流れるプールは不可能としても、かつての様な幅広いファミリー層に親しまれるプール作りに、ちょっとした工夫(例えば、伊豆稲取の海水プールに設置された小さな飛び込み台や、伊東の市民プールの短いスライダー、売店の小屋等)を凝らす事で、市外のみならず、他府県からの来客も見込める。温水プールの様に莫大な維持費をかける事なく、老若男女問わず親しまれる魅力的な市民プール開設で十分な集客は見込める。</p>	<p>屋外プールについては、近年の異常な猛暑や熱中症リスク、天候急変や自然災害などの気候変動リスクなど、環境の変化に伴う様々な課題があります。また、調布市民プールは開設から50年以上が経過する中、老朽化や維持管理コストの増大、利用者数の減少などの課題にも直面しています。こうした課題を踏まえ、多角的な観点から検討を行った結果、調布市民プールは、施設運営の安定性や、費用対効果といった点を総合的に勘案し、現状の屋外プールとしては改修・更新はしないこといたします。</p> <p>一方、公営プールは、水泳や水遊びを通じた幅広い年代の市民の健康増進や子どもが水に親しむ機会の提供、多世代交流の場など、多面的な意義があることを踏まえ、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。</p>
10 3 調布市民プールのあり方について	<p>屋外プールとしての更新はやめるという方針には賛成。 今後の、小学校のプールも含めた公営プールの在り方については、以下のような観点から、複数案を比較検討して決定してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 社会情勢の変化などによって、ニーズは常に変わりうるものであるから、そうした変化に柔軟に対応できるようなリスク分散は考えておくべきと思う。税金を大量投入した結果、ニーズもなく、社会的使命も果たせないような施設を作ることは避けないと想定する。リスク分散の具体例としては、素案でも書かれている通り、同じ公営プールであっても施設ごとに個性も持たせ、様々な需要に応えられるようにするとか、民間の施設利用に補助金を出すなどして、官民双方の資産を活かすなどの方策が考えられると思う。また、新規施設を作る場合でも、身の丈を超すぎたものにならないよう、今後の需要予測をなるべく正確に把握することも大事だと思う。他の自治体や民間などによる同種施設の構想もヒアリングし、供給予測の把握に努めることも必要だろう。 - 公共施設である以上、短期的な目先の利益だけを考えた施策を行うべきではない。単に単体での赤字が続いているからやめる、ということではなく、市民の体力づくりをどう行うかなどの、長期的目標にたった施策が望まれる。実際、私にも子供がいるが、最近は夏休みの間、暑すぎて屋外でなかなか遊べない状況にあり、そうした状況の中では、プールというのは子供に夏でも運動させるための大きな選択肢になっている。なかでも普段使いできるような価格で利用可能な公営プールはありがたい。 	<p>公営プールは、水泳や水遊びを通じた幅広い年代の市民の健康増進や子どもが水に親しむ機会の提供、多世代交流の場など、多面的な意義があることを踏まえ、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。</p> <p>また、検討に当たっては、ご意見の観点も参考にしながら、幅広い視点を持ち、取組を進めて参ります。</p>

		図3-4について、調布市内だけを見るとその通りであるが、他の市・県を含めた広い視野でアクセス性の検討をするべきと考える。例えば、旧狛江四小跡地に温水プールを備えた複合施設が整備予定である。染地地区の居住者は利便性から多少金額が高ても主にこちらを利用すると想定される。また、京王バスが桜堤通りを走っているため、京王多摩川地域からのアクセス性も悪くない。そのため、調布市民プールの収益性を確保しつつ地域の魅力を向上させるには、狛江市のプール(他のプールもそうであるが)と差別化を図る必要がある。この地域の弱点はカフェやスーパー・コンビニなどの商業施設が少なく、屋内でゆっくり出来る場所が少ない。また、多摩川河川敷に広大な土地があるが、草の丈が高かったり、虫が多くいたり、水辺に近すぎたりと子供を安心して遊ばせられるスペースとは言い難い。逆に長所としては、多摩川と富士山の景観、車であればアクセス性の良さ、施設によってはランナーの需要を取り込める、今後京王多摩川駅、多摩川住宅再開発により周辺人口が増加するという点が考えられる。これらを踏まえて、野球場・テニスコートを含めた一体的な再開発をするべきと考える。具体的には旧テニスコート跡地部分に3階建ての施設とし、2階部分に多摩川沿いに開口をとった屋内プールを整備、プールの内容は付近のプールにはない設備を設け差別化を図る。テニスコートは屋上に整備し、土地の有効活用とする。1階部分はコンビニやランニングスポットを誘致し、収益性を確保する。3階部分はカフェやラウンジを整備し、子育て世帯や高齢者が集えるスペースとする。屋外の空いたスペースは芝生広場とし、イベントを行えるようにする。以上の施策により地域の魅力を向上し、住みたい町とする事で住民税收入増といったプールでの収益以上の効果を期待できると思います。周辺施設との一体開発、他との差別化、地域の魅力・賑わい向上という視点での検討をよろしくお願ひいたします。	公営プールは、水泳や水遊びを通じた幅広い年代の市民の健康増進や子どもが水に親しむ機会の提供、多世代交流の場など、多面的な意義があることを踏まえ、新たな屋内プールの整備や他自治体を含む公営や民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。また、必要となるプール機能やプール以外の機能については、様々な利用ニーズの把握のほか、移動手段等を踏まえた地域バランスへの配慮に努めつつ、費用対効果等を検証しながら検討して参ります。ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。
11	3 調布市民プールのあり方について		
12	3 調布市民プールのあり方について	旧狛江第四小跡地にも温水プールが出来る予定ですので、多摩川沿いの景観を活かすなどそちらとの差別化を図り、地域住民がどちらも利用したくなる施設として欲しいです。	今後検討を進めるに当たっては、周辺自治体の公営プールの配置状況等も踏まえながら考え方を整理いたします。
13	3 調布市民プールのあり方について	費用面や酷暑の影響等を見据えて、屋外プールとして改修をしないという方針は理解できるが、南部地域に住む子供達が夏場遊べる場がないことは問題。小学生だけで市内の他のプールに行くのは困難なので、跡地をプール以外の施設にするにしろ、夏場でも遊べる施設になることを望む。また、次の施設としての工事着手まで時間がかかると思われる所以、現施設の最低限の補修で稼働できる範囲でも夏場に運営するとか、プールでは無いが思いつき水遊びができるエリアにする・イベントを行うなど、今いる子供達が次の夏に楽しめるような暫定利用についても検討いただきたい	今後、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策の検討に当たっては、市内の公営プール等の配置なども踏まえた地域バランスへの配慮や子どもの水遊び環境の確保など、多角的な視点を持つとともに、具体的な方策の実現に要する期間の対応にも留意しながら取組を進めて参ります。
14	3 調布市民プールのあり方について	健康増進の目的からすると、南部地域の住民にも通年利用がしやすい屋内プールがぜひ欲しいです。特に私が住む染地地区からバスを乗り継いでほかのエリアの施設に通うのは、運動しなきやいけないけれど腰が重い者にはそもそもハードルが高く、運動の機会が減っている一因になっています(私の所感)。調布を北部・東部・南部・西部と分けてプール利用の頻度などのアンケートを取っていましたが、染地・布田エリアあたりに絞ると、他地域プールの利用はアンケート以上に少ないのではないでしょうか。どの施設にも行きにくいので、勝手を言うと、泳ぎたい人・歩きたい人用の25mプール、浮いていたい人・遊びたい人用のプール、浅い幼児プールがあるのが理想、つまりこれまでの屋外プールの要素に屋根をつければ、幅広い年齢層とニーズをカバーできると思います。さらに、総合体育館ほどの規模とはいかないまでも、小さなウェイトトレーニングルーム、各種エクササイズに汎用性の高いスタジオが1~複数あれば、有料クラスを設けることもできて収入減をカバーでき、一方で、市民は通いやすい場所で継続して運動の機会を得られます。この場所で元気に年を取りたいので思い切って意見を述べてみました。よろしくお願ひいたします。	今後は、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討します。なお、検討に当たっては、市内の公営プール等の配置なども踏まえた地域バランスへの配慮や子どもの水遊び環境の確保など、多角的な視点を持ちながら取組を進めて参ります。ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。
15	3 調布市民プールのあり方について	プールの閉鎖により、子供達の夏の楽しみが一つ減りました。安価で楽しめる場所でした。今は違う市まで電車で室内プールに行っています。安全性を配慮するのも必要ですが、遊べる場所が無くなってしまい、もう何年も『今年こそ』と期待しては期待が外れてがっかりしています。	今後、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策の検討に当たっては、市内の公営プール等の配置なども踏まえた地域バランスへの配慮や子どもの水遊び環境の確保など、多角的な視点を持つとともに、具体的な方策の実現に要する期間の対応にも留意しながら取組を進めて参ります。
16	3 調布市民プールのあり方について	学校で水泳の授業が減る傾向にあると聞きます。こういった公共の施設を活用し平日の利用者の少ない時間帯等に授業を入れるとか。	学校プールのあり方に関する市教育委員会の検討との整合についても留意しながら取組を進めて参ります。

17	3 調布市民プールのあり方について	<p>50mプールの廃止と、50mプール以外の施設の改修・活用の検討について</p> <p>素案では、50mプールの劣化が最も深刻であることが示されており、また市民アンケートでは 50m プールの利用ニーズは限定的であると記載されています。これらの点から判断して、50m プールを全面改修して再開することは費用対効果の観点から妥当ではなく、素案の方向性は理解できます。</p> <p>一方で、(幼児用プール・変形プール・25mプール)は、比較的改修負担が少なく、かつ子育て世代や小学生のニーズが高い機能です。特に、幼児用プールや浅い水深のプールは、市内で代替が少なく、地域の子育て環境にとって重要です。これらの施設が活かせるのであれば、地域住民にとって大きな価値があります。</p> <p>50mプール以外の施設を部分的に活用できる可能性について、より詳細に検討していただきたいと考えます。</p>	<p>屋外プールである市民プールは、開設から50年以上が経過する中、老朽化や維持管理コストの増大、利用者数の減少に加え、近年の異常な猛暑や熱中症リスク、天候急変や自然災害などの気候変動リスクに伴う利用環境の変化などの課題に直面しています。こうした課題を踏まえ、多角的な観点から検討を行った結果、市民プールは、民間の屋外レジャープールによる代替性や費用対効果といった点を総合的に勘案し、現状の屋外プールとしては改修・更新はしないことしました。</p> <p>今後については、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
18	3 調布市民プールのあり方について	<p>「時間軸(再開までの期間)」の検討について</p> <p>素案では、現状維持案・屋内プール整備案・既存施設で機能代替案が示されていますが、いずれの選択肢についても「再開までに必要な期間」などの時間軸が明示されていません。</p> <p>市民プールはすでに 2 シーズン連続で閉鎖されており、特に幼児用プールや浅い 25m プールに依存していた子育て世帯にとって、機会損失が大きく生じています。市内では幼児が利用できる公的水遊び環境が限られているため、この空白期間が長引くほど、地域の子どもの健全な成長機会に深刻な影響があります。</p> <p>したがって、各案の比較・評価項目には、「再整備・代替措置が実現するまでの期間(工期)」を含めていただきたいと考えます。</p>	<p>再整備や代替措置については、諸条件の整理などが現時点では困難であることから、評価項目には入れておりませんが、いただいたご意見を反映し、今後の進め方の記述に「具体的な方策の実現に要する期間の対応にも留意しながら取組を進めていく」旨を反映しました。</p>
19	3 調布市民プールのあり方について	<p>調布市民プールの今後のあり方について、公共施設の持続可能性の確保と地域資源としての価値向上の観点から、以下の通り提案いたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> スケートボードパークの整備による地域課題の解決と公共性の向上 <p>近年、若者を中心にスケートボードの競技人口が増加し、国際競技としても注目が高まっています。その一方で、調布市には安全に練習できる公営のスケートボードパークが存在しておらず、スポーツ環境の整備方針を検討する余地があります。</p> <p>近隣自治体(世田谷区、府中市、三鷹市、稻城市、川崎市 等)では既に公営施設が整備されていますが、調布市は都市規模に対して公営施設が存在しない数少ない自治体となっています。</p> <p>市民プール跡地の再整備においてスケートボードパークを導入することは、</p> <ul style="list-style-type: none"> 競技人口増加と国際スポーツ競技としての発展 若者の安全かつ健全な活動場所の確保 地域課題(苦情や危険行為)の解決と公共空間の整理 <p>に寄与する、安全で実効性の高い選択肢と考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 既存公共プール施設の改修活用による成功事例 <p>同様に閉鎖された公営プールを再生させた例として、「青梅エクストリームスポーツパーク」が挙げられます。</p> <p>この施設は、既存設備を活用した改修によりエクストリームスポーツの利用拠点として再整備され、多摩地域における新たなスポーツ交流の場として活用されています。</p> <p>本市においても、既存施設の構造を活用することで、コストを抑えつつ高い公共価値を生み出す再整備が可能であることを示しています。</p> <p>参考: 青梅エクストリームスポーツパーク公式サイト https://ome-extreme-sportspark.com/</p> <p>参考: 朝日新聞 記事 https://www.asahi.com/articles/AST5140WWT51OXIE02DM.html</p> <p>以上の理由から、市民プールの再整備において</p> <p>スケートボードパークの導入について具体的な検討を進めていただくことを提案いたします。</p> <p>本提案が、市民誰もが安全に利用できる公共空間の創出や、</p> <p>世代と地域をつなぐ新たなスポーツ拠点の形成につながることを期待しております。</p>	<p>今後については、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。ご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

	20	3 調布市民プールのあり方について	一部の愛好家が利用するための市民プール、隣接した市民野球場、テニスコートも廃止して、総合体育館のような「総合健康センター(仮)」のような施設を立ち上げてほしい。調布市南部の住民は総合体育館までの距離が遠く、頻繁に使用することができないので、是非建設してほしい。その施設には本格的なトレーニング施設(プールは不要:管理事業者にはティップネス、エニタイムフィットネスやミズノ(エスフォルタ)などの専門業者を選定)や体育館(観客席、ランニングコースも完備)としての機能はもちろんこと、『各産業(医療・介護・健康・スポーツ)の事業者』と『市内に拠点のある大学(電気通信大学、東京慈恵会医科大学など)』と『調布市』による産学官連携(「元気な高齢者の健康対策」など)の研究拠点になるような機能や調布市南部の防災拠点になるような機能を兼ね備えてほしい。これを機に公営プールが一切無い調布市を目指してほしい。	公営プールは、水泳や水遊びを通じた幅広い年代の市民の健康増進や子どもが水に親しむ機会の提供、多世代交流の場など、多面的な意義があるものと認識しています。また、公営プールである市民プールは、多くの市民や子どもたちに利用され、夏季のレジャーや水遊び、健康づくりの場として一定の役割を果たしてきました。今後は、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。いただいたご提案については、今後の検討の参考とさせていただきます。
	21	3 調布市民プールのあり方について	市内の屋内プールの利用者は高年齢者が健康増進目的で使用する傾向がある(通年利用)。また、団体利用やレクリエーション使用も行うことができ計画的な使用ができる。夏季等は親子使用や子供達の使用傾向がありますが通年で使用する方は少ないであろう。私は染地在住です。市内3施設を利用することはありますが屋内プールに行くには暑い夏(6月~9月)と冬(11月~3月)は危険なので出掛けたくとも行けません。南地域は坂下でもあり、屋内プールの設置をお願いしたい。	公営プールの意義を踏まえ、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。
	22	3 調布市民プールのあり方について	市民プールのありかたについてですが、老朽化は、当然予測できているはずなので、子供達のためにも存続を強く希望します。私も孫達と3年前まで毎日のように利用させてもらっていました。調布市は総合体育館や調和小学校にもありますが、総合体育館は、子ども達が遊具は持って行けず、子供達にとっては今一つ楽しめてないのか、何度か利用しましたが、子供達はほとんど来てなくて、高齢者の方たちばかりでした。調和小学校は、駐車場がないので利用したことはありません。近隣の市では、市民プールに力を入れているようで綺麗で楽しいところになっています。調布市でも、絶対無くすことなく、早い再開を切に願います。できれば今まで以上に楽しいプールとして取り組んでほしいです。子育てに力を入れるなら、ぜひ、こういう施設に、税金をつかってほしいです。学校のプール指導も暑さでなくなっています。そのためにもぜひと思っています、私が市民プールを、孫と利用していた頃は、家族でも、たくさん利用していて活気がありました。これこそ市民プールだと思っていました。使えなくなって2年が経ちます。正直もう少し早くに検討して欲しかったです。これから子供達のためにも子育て中の家族のためにも、他市にも見習ってみんなが楽しく行けるプールの実現を切に望みます。	屋外プールである市民プールは、開設から50年以上が経過する中、老朽化や維持管理コストの増大、利用者数の減少に加え、近年の異常な猛暑や熱中症リスク、天候急変や自然災害などの気候変動リスクに伴う利用環境の変化などの課題に直面しています。こうした課題を踏まえ、多角的な観点から検討を行った結果、市民プールは、民間の屋外レジャープールによる代替性や費用対効果といった点を総合的に勘案し、現状の屋外プールとしては改修・更新はしないことといたします。今後は、公営プールの多面的な意義を踏まえ、新たな屋内プールの整備や既存の公営または民間プールの活用など、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について検討して参ります。頂戴したご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。
	23	3 調布市民プールのあり方について	市民プールにつきまして、議事録を拝見致しました。50m屋外プールはあまり利用価値が無い旨の議論がなされているようでしたが、他の自治体でも軒並み廃止になり存在自体が貴重です。存続について前向きに再検討して頂きたいです。	「調布市民プールのあり方に関する検討委員会」においては、50メートルプールを含む各種プール施設について、利用者ニーズ、代替困難性、費用対効果の観点から整理・検証しました。その中で、50メートルプールは、25メートルプールと比較して、いずれの観点からも低評価となりました。今後は、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。
	24	3 調布市民プールのあり方について	早く市民プールを再開してほしい。できれば50メートルプールも屋内で。	検討委員会での議論においては、50メートルプールを含む市民プールの各種プール施設について、利用者ニーズ、代替困難性、費用対効果の観点から整理・検証しました。検討の中では、25メートルプールと比較して、いずれの観点からもやや低い評価となりました。今後は、効率的かつ持続可能な形でプール機能を継承できる方策について、幅広い視点から検討して参ります。検討に当たっては、具体的な方策の実現に要する期間の対応にも留意しながら取組を進めて参ります。

25	その他	<p>非常にわかりやすい資料をまとめていただき、ありがとうございます。一市民として、このように市から情報発信が行われることに安心感を覚えます。パブリックコメントも募集していただき、感謝します。</p> <p>総合体育館のプール利用については、あまり詳しく知らなかったり、初めての利用で不安に思う方もいらっしゃるかもしれません。私がそうです。そのため、市広報誌で「実際に利用してみました」というような特集など組んでいただけると、利用へのハードルが下がりそうです。「市民プールを停止しても、プールを利用できる環境は整っていますよ」というポジティブなメッセージを継続的にご発信いただけすると嬉しいです。</p>	調布市民プールのあり方については引き続き市ホームページや市報ちょうふ等で適切な時期に情報発信を行うとともに、市内のその他公営プール等についても、広報・周知に努めて参ります。
26	その他	<p>屋内で未就学児も利用できるプールがあると良い。調和小のようなプールがあると良い。こどもが小さいころは調和小のプールをよく利用した。今はひとりで少しの時間行くのにちょうど良い。</p>	子どもの水遊び環境の確保の視点を踏まえ、検討を進めて参ります。